

2011 競技規則改正についての解説

(社)日本カーリング協会競技委員会
2011.10

【今回の規則改正の概要】

※2010年6月に改正手順が明記された。

規則の改正はWCFの競技委員会が毎年見直す。メンバー協会は11月15日までに書面でWCF事務局に提案することができる。

提案はWCFの半年次総会（12月）で討議し、年次総会（4月）で投票を行う。

※今回の年次総会での決定事項

・昨年改正された規則を運用して不都合な点を変更・追加した。

大きな点はタイムアウトとエキストラエンドの各チームの持ち時間について変更した。

1. R11：スコア・・・・・・・・追加標記
2. R13：車椅子カーリング・・・変更標記
3. C2：参加チーム(k)・・・用語変更（2カ所）「コーチとの接触」⇒「**チームタイムアウト**」。
4. C6：計時(c)・・・・・・・・変更標記 エキストラエンドの持ち時間の延長。
5. C6：計時(d)(i)(f)・・・・追加標記
6. C7：**チームタイムアウト**・・・用語変更（12カ所）
7. C7：チームタイムアウト(c)・追加標記 移動時間の付与とそれぞれの大会で審判長が決める。
8. WSCC（世界シニア）の競技システム・プレーオフの変更（エントリー 21-30カ国の場合）
9. ECC（ヨーロッパ選手権）・・・追加標記 前回の記載漏れ。
10. ドレスコード：帽子・・・・・・・・追加標記 帽子のロゴについてコーチ席いるチーム、人にも適用する。

【規則改正の内容】

<カーリング規則>

R11. スコア (P26)

(ii) どちらか片方のチームがストーンを全てプレーした場合

- 1) ストーンを全て投げ終わったチームが得点している場合は、**結果を決めるのにポイントが必要でなければ**得点を与えず、スコアボードに「×」を掲げる。

（下線部分を**追加**。）

前回はスコアボードに「×」を掲げる条件を明確に表現した。
今回さらに明確にした、**勝敗を確定するのに必要のないポイントは与えない。**

R13. 車椅子カーリング (P28)

- (g) 日本車椅子カーリング選手権においては、**試合中いつでも**4人でプレーし、チームには男性と女性が入っていなければならない。

（下線部分を**標記変更**。）

今回の変更点は、「全ての試合を」⇒「**試合中いつでも**」である。
よって車椅子の場合は**男性と女性**が必ずプレーし、3人でのプレーは認められない。

<大会規則>

C2. 参加チーム

- (k) ……関係者は、決められたブレイクや「**チームタイムアウト**」時を除いて、……ならない。この規定は、「**チームタイムアウト**」を促す合図を送る試みを含め、……禁じられている。

（下線部分を**用語変更**。）

この項目は用語の変更をした。(C7 (a) (b) (c) 参照)

C6. 計時

- (c) エキストラエンドが必要なときは、試合の計時をリセットし、各チームに**9**分ずつ持ち時間として与える（車椅子カーリングでは**10**分、ミックスダブルスカーリングでは**8**分）。

（下線部分を**変更**。）

この項目は、エキストラエンドの各チームの持ち時間を1分追加した。

- (d) (i) 全ての**インプレー**のストーンが静止した、あるいはバックラインを越えた。（下線部分を**追加**。）

この項目は現況を明確に表現した。

- (f) エンドの最後のストーンとそれによって動いた**インプレー**のストーンが全て静止……………ブレイクが終了する、あるいは**デリバリーしたストーンがライン（車椅子カーリングではホッグライン）に達すると、デリバリーをするチームの計時は自動的に動き出す。ブレイクの時間が残り10秒、もしくはそれ以下になるまで、最初のストーンを投げることはできない。**ブレイク時間は通常以下の通りである。

（下線部分を**追加変更**。）

最初の項目は計時を止める状況を明確に表現し、計時のスタートさせる状況を明確に表現した。最後はブレイク時間（エンド間1分・ハーフタイム5分）を確実に取得すること促している。残り10秒以下になるまで投球することはできない。

C7. **チームタイムアウト**・テクニカルタイムアウト（以下チームタイムアウト12カ所用語変更）

- (c) (iii) プレーヤーは両手で「T」の文字を作って**チームタイムアウト**を合図する。**コーチはチームのところに行くための「フリー」の時間を与えられる（計時はとまる。）移動時間の長さは、それぞれの大会で審判長決める。コーチがチームにたどり着いたら計時が動き出す。そのチームの計時は動き続ける。**

（下線部分を**追加変更**。）

用語の変更（12カ所）と従来通りコーチの移動時間を与える事にした。移動時間の長さは大会審判長が会場を確認して決める。計時は移動時間終了又はチームと接触がなされた瞬間スタートする。
(C7 (c) (iv) (v) (vi) 参照)